

北杜

2017
Vol. 52

議会だより



シリーズ市内の文化財『国指定 史跡 金生遺跡』

9月定例会



8つの杜づくり(議案と審議) ②

委員会レポート ⑤

決算特別委員会 ⑥

市長の所信表明 ⑧

会派代表質問 ⑨

一般質問 ⑰

声のひろば ⑳

北杜市ウォッチング ㉒

第3回定例会は、9月5日から9月28日までの24日間の会期で開催し、市長提出の平成28年度一般会計・特別会計決算22件の認定をはじめ、29年度補正予算3件、条例、報告、同意など計39件を審議し、原案のとおり可決しました。

また、選挙1件を当選、請願1件を採択し、意見書2件を可決しました。

確かな歩み

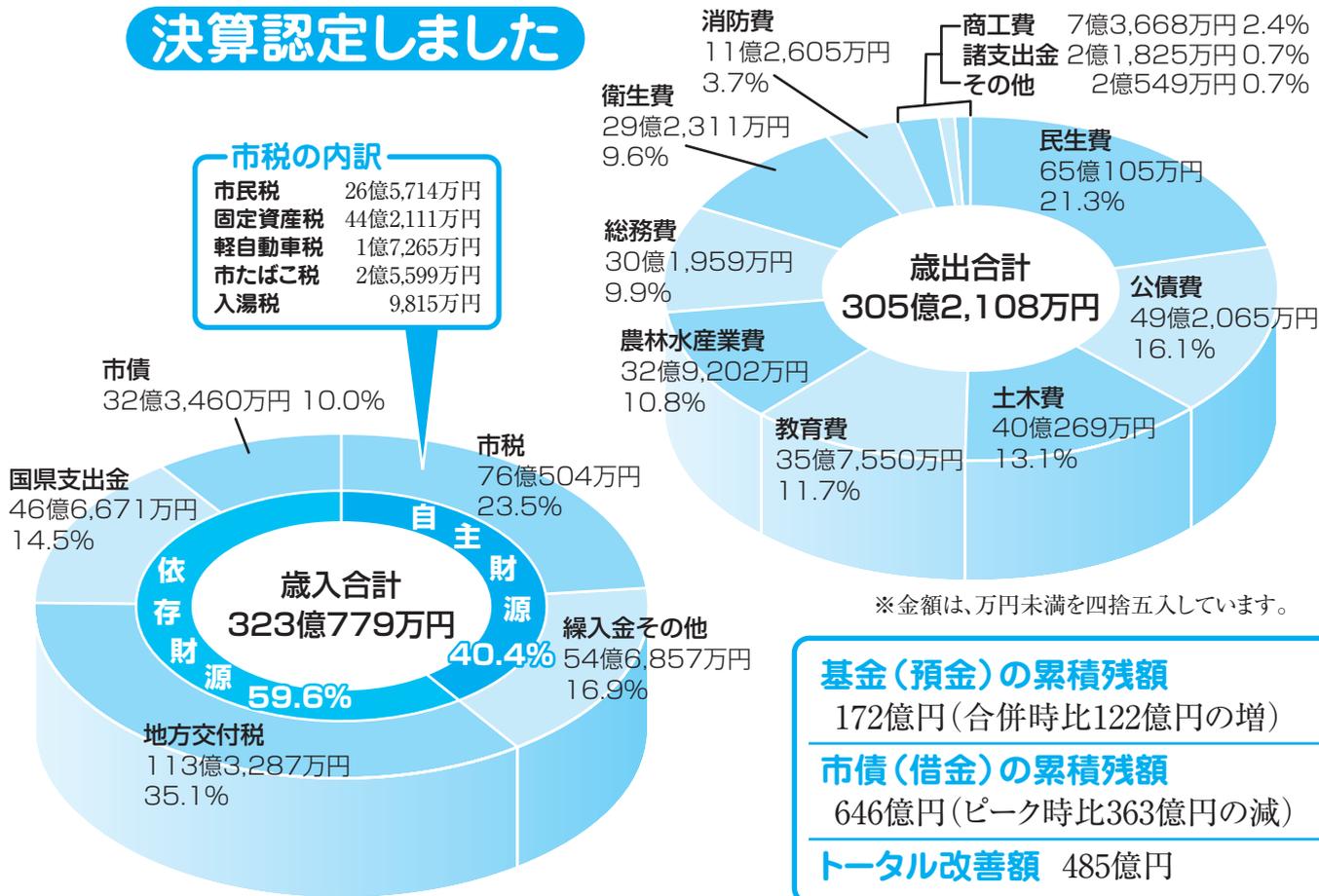
輝く杜づくり～

平成28年度一般会計決算

決算認定しました

市税の内訳

| | |
|-------|------------|
| 市民税 | 26億5,714万円 |
| 固定資産税 | 44億2,111万円 |
| 軽自動車税 | 1億7,265万円 |
| 市たばこ税 | 2億5,599万円 |
| 入湯税 | 9,815万円 |



基金(預金)の累積残額

172億円(合併時比122億円の増)

市債(借金)の累積残額

646億円(ピーク時比363億円の減)

トータル改善額 485億円

一般会計決算認定

反対討論 清水進

性質別歳出の1位が借金の返済で16.1%。一方で扶助費は10.5%である。介護サービス自己負担軽減や福祉タクシーの利用拡大など、繰上償還の財源を利用すれば可能である。

賛成討論 井出一司

子育て支援住宅の整備により移住者を受け入れ、雇用創出により農業者を確保。水の山ブランドの推進により、観光客増などに取り組み、住み続けたい住んでみたいまちの実現を図り評価できる。

反対討論 栗谷真吾

市民感覚に沿って予算執行が行われ、事業の費用対効果において適正かという点から見ると、観光振興の分野において疑問。事業の結果検証が不十分に感じられる。

賛成討論 加藤紀雄

財政の健全化と将来を見据えた積極的な予算である。小淵沢駅舎改築および駅前広場整備は、地域の

将来の発展の中心となることが期待できる。将来を見据え各種事業に取り組んだ姿が見える決算。

反対討論 池田恭務

全体的・総合的には好印象であるが、各種計画策定業務の外部委託や、指定管理、獣害対策など、効果的な予算執行であったか疑問符のつくものもある。今年度以降への期待を込め反対する。

賛成討論 保坂多枝子

交付税の段階的縮減に伴う自主財源の確保が求められるが、急速な少子高齢化や広大な面積のためにインフラ整備・交通網整備などを必要とし行政効果が上げにくい。その中で、市は定住人口の増加や雇用の創出など財源確保に努めている。

※賛成17、反対4で認定

特別会計決算認定

▼国民健康保険特別会計等21件

※全員賛成で認定



財政健全化の ～未来に向けて

平成29年度一般会計補正予算

6億6,036万円増額 予算総額は289億1,597万円に

一般会計補正

(第2号・第3号)
※全員賛成で可決

おもな補正財源

| | | | |
|-------|-----------|-----|-----------|
| 地方交付税 | 2億899万円 | 繰入金 | 1億800万円 |
| 国庫支出金 | 2,826万円 | 諸収入 | 1億5,730万円 |
| 県支出金 | 1億1,697万円 | 市債 | 2,920万円 |
| 寄附金 | 1,000万円 | | |



園児の増加と老朽化により
建て替え予定のいずみ保育園

おもな使いみち

| | | |
|--------------------|-----------|---|
| 市単道路新設改良事業費 | 1億5,000万円 | 市道改良 |
| いずみ保育園建設事業費 | 1億1,584万円 | 仮設園舎借上料等 |
| 衆議院議員選挙費 | 3,446万円 | 衆議院の解散に伴い行われる衆議院議員総選挙 および最高裁判所裁判官国民審査 |
| 北の杜フードバレープロジェクト事業費 | 1,000万円 | 地方創生応援税制を活用し、認証取得等による高付 加価値化や生産性の向上等の取り組みを推進 |
| 福祉タクシー導入事業費補助金 | 350万円 | 福祉車両の購入に対する助成 |
| 地域女性活躍推進事業費 | 146万円 | フォーラムの開催等 |

特別会計補正

※全員賛成で可決

※金額は、万円未満を四捨五入しています。

| | |
|-----------|-------|
| 介護保険(第2号) | 843万円 |
|-----------|-------|

| 賛否のあった議案 (議長を除く) | 議員名 | | | | | | | | | | | | | | | | | 結果 | | | | | |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|-------|------|------|-------|------|-------|------|----|-------|-------|-------|-------|----|
| | 栗谷 真吾 | 池田 恭務 | 秋山 真一 | 進藤 正文 | 藤原 尚 | 清水 敏行 | 井出 一司 | 志村 清 | 齊藤 功文 | 福井 俊克 | 加藤 紀雄 | 原 堅志 | 岡野 淳 | 相吉 正一 | 清水 進 | 野中真理子 | 坂本 静 | | 保坂多枝子 | 千野 秀一 | 内田 俊彦 | 秋山 俊和 | |
| 平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定 | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |

○=賛成 ×=反対

条例

- ▼介護保険条例の一部改正
- ▼特別会計設置条例の一部改正

- ▼小淵沢駅前広場条例及び駐車場条例の一部を改正する条例の一部改正

- ▼市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部改正

※全員賛成で可決

報告

- ▼市財政の健全化判断比率および資金不足比率
- ▼簡易水道事業特別会計

継続費精算報告書

▼専決処分（損害賠償額の決定）

その他

- ▼工事請負契約の締結（仮称）就業促進住宅

白州団地建築主体工事
 興水建設・三沢工務店
 （仮称）就業促進住宅白州団地建築主体工事共同企業体

- 清里南部クリーンセンター機械設備更新工事
 （株）西原環境首都圏支店
 3億6、720万円



就業促進住宅白州団地(完成イメージ)

同意

- ▼大泉恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任
 三井 修（大泉町）

- ▼棒道下恩賜林保護財産区管理会委員の選任

進藤 敏夫（小淵沢町）
 進藤 洋雄（小淵沢町）
 進藤 璋久（小淵沢町）
 小林 定次（小淵沢町）
 清水 輝隆（小淵沢町）
 萱沼 鉄男（小淵沢町）
 小松 一仁（小淵沢町）

- ▼大平山恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任

進藤 璋久（小淵沢町）
 清水 輝隆（小淵沢町）
 小松 一仁（小淵沢町）

- ▼八ヶ岳山恩賜県有財産保護組合議会議員の選任

進藤 璋久（小淵沢町）
 小林 定次（小淵沢町）
 清水 輝隆（小淵沢町）
 小松 一仁（小淵沢町）

選挙

- ▼釜無山外三字恩賜県有財産保護組合議会議員
 唯井 久男（白州町）
 名取 富雄（白州町）
 名取 一彦（白州町）

請願

- 国連での「核兵器禁止」条約の推進を求める請願

【趣旨】
 国連核兵器禁止条約会議に参加し、積極的に禁止・廃絶を主張するよう要望する。

- 請願者
 中島 辰和
 前田 和子
 早川与志子

●紹介議員
 志村 清
 すでに国連で条約は可決しており、「核兵器のない世界と恒久平和」の実現を求める意見書を委員会発議として提出するた

め。
 ※全員反対で不採択

- 教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

【趣旨】
 次の措置を講じるよう要望する。

- ①子どもたちの教育環境改善のために、教職員の長時間労働を是正するために、計画的な教職員定数改善を推進すること。
- ②教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、

意見書

- 「核兵器のない世界と恒久平和」の実現を求める意見書

平和国家の誇りを高く掲げ、積極的に働きかけて、平和の橋渡しとなるよう必要な措置を講じる

- 提出者
 総務常任委員長 齊藤 功文

※全員賛成で可決

- 教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書
- 請願採択により、請願にある措置を講じるよう、内閣総理大臣及び関係大臣に意見書を提出する。

●提出者
 文教厚生常任委員長 岡野 淳

※全員賛成で可決



委員会レポート

＝ 審議のあらまし ＝

総務

常任委員会

6月13日に付託され継続審査となった請願1件と、発議1件を審査した。おもな質疑は次のとおり。

■国連での「核兵器禁止」条約の推進を求める請願

問 既に国連で条約は可決している。発議に記載したとおり、今後の日本政府には「核兵器のない世界と恒久平和」の実現のため、平和国家の誇りを高く掲げ、積極的に働きかけて、平和の橋渡しとなることが求められると考えるが、どのように考えるか。

答 日本政府の今後の方向性としては、本日提出された発議のとおりであり、発議を尊重し委員会に判断を委ねる。

※全員賛成で不採択

■「核兵器のない世界と恒久平和」の実現を求める意見書(案)

※全員賛成で可決

文教厚生

常任委員会

付託された事件1件を審査し、議案については、原案のとおり可決すべきものと決定した。また、請願1件を審査し採択とすべきものと決定した。おもな質疑は次のとおり。

■介護保険条例の一部を改正する条例

問 被保険者の関係者と配偶者および世帯主、同一世帯の世帯員である。これまで、第2号被保険者の介護サービスを受給した際の個人負担分の算定を行う際、第2号被保険者に対しては調査権がなかったが、法律の改正に伴い、被保険者が属する住基上の同一世帯について調査が可能となった。

※全員賛成で可決

〔請願〕

■教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願

問 OECD諸国と比べて、1学級あたりの児童生徒数は。

答 2014年時点で、初等教育段階の平均学級規模は、OECD平均は1クラス当たり21人に対して27人で、OECD加盟国の中で2番目に多かった。

※全員賛成で採択



経済環境

常任委員会

付託された事件3件を審査し、議案については、原案のとおり可決すべきものと決定した。おもな質疑は次のとおり。

■特別会計設置条例の一部改正

問 事務の効率化とは。基金を含めて権利関係についても一本化されるのか。

答 予算書および決算書がそれぞれ1冊になり、わかりやすい説明が可能となる。基金については、



道路標識一部改正

名称の変更をするだけで、これまでと同じである。基金の運用については、各財産区管理会で決定していく。

※全員賛成で可決

■小淵沢駅前広場条例及び駐車場条例の一部を改正する条例の一部改正

問 地域の要望にこたえるため、条例の改正は考えているのか。

答 必要に応じて今後検討していく。

※全員賛成で可決

■市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部改正

問 高速道路の標識が追加されるとのことであるが、市道に設置してある案内看板に変更はあるのか。

答 観光客に対する案内看板の変更は、必要があれば検討する。

※全員賛成で可決

平成28年度決算特別委員会

平成28年度の決算を審査するため決算特別委員会を設置し、委員長に野中真理子議員、副委員長に清水敏行議員を選任。

付託された平成28年度 一般会計および特別会計の決算22件を審査し、原案のとおり認定した。

おもな質疑答弁は次のとおり。

一般会計

問 実質単年度収支の決算状況は。

答 実質単年度収支は約16億円であった。合併特例措置で平成28年度に加算されている額とほぼ同額であり、32年度までは黒字が保てる状況といえる。ただ、第4次行財政改革大綱における財政見直しでは、合併特例債の発行終了の影響が大きく現れてくる平成35年度には赤字に転じる見込みであり、行政改革を今以上に進める必要がある。

問 臨時財政対策債の借り入れを回避できたが、基金積立が厳しい状況だ。現在の財政状況をどう捉えているのか。

答 平成27年度からの段階的縮減により、普通交付款が減額された影響で、積み立て可能な額が少なくなり、基金残高は減少に転じている。臨時財政対策債も借り入れを行わなければならない状況が迫っている。

問 扶助費が増加した要因は。

答 中学校3年生までの子ども医療費の受診率が増加したことに伴い、約2千万円の増。障害者福祉サービスの提供者数が

増加したことに伴い、約5千万円が増となった。

問 子育て世代マイホーム補助金の実績は。

答 28年度は計画書の提出が137件あり、そのうち完成が133件であった。市内外の内訳は、市内が100件、市外が37件であり、市外からの転入者は128人であった。

問 青年就農給付金補助の利用状況は。

答 生活保護を受給している家庭や、生活保護に準じた世帯の児童生徒に対して支給している。



子育てを応援

反対討論 清水 進

福祉分野など多くの分野で支出を削減した結果、今年度の実質収支が黒字となった。国保税の一世帯1万円の引き下げなど、繰上償還の一部を利用すれば可能であることから反対する。

が、基準を厳しくし反対する。

賛成討論 内田俊彦

国保税の一世帯減額は、高額所得者もおり、必ずしも弱者救済には当たらない。PDCAサイクルについては、市は予算をたて、決算を行い翌年度に反映している。平成28年度の事務事業は、市民が胸を張って活躍できる将来を見据えた決算であることから賛成する。

賛成討論 加藤紀雄

実質公債費比率、将来負担比率とも大幅に改善されるなど、健全財政運営がなされた決算である。一方で、子育て支援住宅など、市の将来の発展のために必要な投資には、積極・果敢に挑戦し実行してきた。地域全体で子どもの学習を応援する「公営アカデミー」開設など、将来を見据え各種事業に取り組んでいる。

反対討論 栗谷真吾

PDCAサイクルに則って経営を行っていない指定管理者に対する姿勢は、市民感覚からすると容認できない。地域おこし協力隊のような制度は、利用の方によっては、地域活性化に大きな原動力となる可能性も秘めている。事例を検討し、効果的な活用をしていただきたいことから反対する。

反対討論 池田恭務

厳しい財政や、まだ成功事例が見当たらない課題に対する取り組みや、努力は見られるが、投資対効果、結果検証PDCAを徹底的に追及すべき事業も多く、全体的総合的に見て合格とする事も可能であ

※賛成17、反対4で認定

特別会計

■国民健康保険特別会計

(歳入)

76億1,641万円

(歳出)

71億3,468万円

問 平成28年度決算において歳入総額は増額し、歳出総額が減額しているが、その要因は。

答 歳入は税込の増による。歳出はC型肝炎の薬価の改定により、医療給付費が減額したと思われる。

■後期高齢者医療特別会計

計

(歳入)

5億7,361万円

(歳出)

5億7,305万円

■介護保険特別会計

(歳入)

39億7,229万円

(歳出)

38億1,931万円

問 介護予防事業や包括支援事業の効果が見られる。介護保険料が県内で

も低くなっていると思われるが状況は。

答 介護予防事業は、国が取り組む前から先進的に実施してきた。現在、公民館カフェを市内39カ所で開催するなど、市民やボランティア団体の協力を得ながら実施していて、総合事業を取り組んできたことで成果が出ていると考えている。

■居宅介護支援事業特別会計

(歳入)

1,395万円

(歳出)

372万円

■簡易水道事業特別会計

(歳入)

22億9,759万円

(歳出)

22億8,894万円

問 滞納繰越額の詳細は。不能欠損した件数と理由は。また、給水停止をした事例は。

答 滞納繰越額は、平成27年度分909万円、26

年度分787万円、25年度分722万円である。不能欠損は資産の回復困難29件、破産法20件、時効完成2件、調停停止中5件、所在不明3件である。

また、給水停止は81件で、そのうち40件は再開した。

答 滞納者数は146人。不能欠損の理由は時効である。

また、給水停止は81件で、そのうち40件は再開した。

問 下水道事業特別会計(歳入)

26億7,765万円

(歳出)

26億4,370万円

問 下水道料金の滞納の件数と対応は。

答 平成28年度は828期分、27年度は815期分である。滞納整理は、下水道は公債権で時効が5年のため、時効により不能欠損とならないよう対応していく。

問 新エネルギー基金の活用目的は。

答 新エネルギー基金積み立ての使用目的のひとつに、平成39年に撤去する場合のパネルの処分費と土地の造成費がある。

問 新エネルギー基金の活用目的は。

答 新エネルギー基金積み立ての使用目的のひとつに、平成39年に撤去する場合のパネルの処分費と土地の造成費がある。

問 新エネルギー基金の活用目的は。

答 新エネルギー基金積み立ての使用目的のひとつに、平成39年に撤去する場合のパネルの処分費と土地の造成費がある。

■白州診療所特別会計

(歳入)

1億3,801万円

(歳出)

1億1,304万円

■農業集落排水事業特別会計

(歳入)

9億4,306万円

(歳出)

9億2,471万円

問 滞納者数は。不能欠損の理由は。

答 滞納者数は。不能欠損の理由は。

■病院事業特別会計

代表監査委員

三井 英雄

監査委員

平井 求

監査委員

千野 秀一

平成28年度会計を

監査した結果、適切

に収入支出がされて

おり、正確なものと

認める。

監査委員の 決算審査意見

代表監査委員

三井 英雄

監査委員

平井 求

監査委員

千野 秀一

平成28年度会計を

監査した結果、適切

に収入支出がされて

おり、正確なものと

認める。



公民館カフェで介護予防



渡辺市長の所信表明

この夏、元気な北杜っ子たちが各種大会で活躍しました。日ごろの努力のたまものであり、市の財産です。皆さまに大きな拍手を送ります。

今夏も明野サンフラワーフェスを皮切りに、多くの祭りが開催され、ふるさと北杜へ思いを寄せる方々に賑わいました。これからは、「浅尾ダイコンまつり」「甲斐駒の里名水まつり」や「体育祭」、「文化祭」などが開催されます。市民や観光客に北杜の魅力、歴史や文化などを知る機会になることを願っております。併せて、実行委員会等関係者の皆さまのご尽力に心から感謝申し上げます。

市政の状況

1 市制施行13周年記念式典

12月9日に八ヶ岳やまびこホールで、ノーベル生理学・医学賞受賞の大村智先生の記念講演や、市政の発展等に功績のあった方の表彰、ふるさと親善大使制度の創設でゆかりのある方に大使をお願いしたいと考えています。

2 太陽光発電設備設置検討委員会

市民の関心が高いことや、特別委員会の審査経過を踏まえ、市民・事業者・市議会議員や学識経験者など関係者を交えた組織を立ち上げ、太陽光

発電設備に係る推進・規制など、条例化も踏まえて調査・研究・検討等を行いたいと考えています。

3 健全化判断比率・普通交付税

財政の健全化に取り組み、健全化判断比率の実質公債費比率が、昨年度から1・9ポイント改善し7・2%、将来負担比率も昨年度から4・4ポイント改善し0・7%となりました。引き続き行財政改革を進め、持続可能な財源の確保に努めます。

4 市立いずみ保育園建設事業

昭和52年に建設後40年が経過、老朽化の進行で

早急な対応が必要と判断し、建て替え整備を行う計画です。新園舎は現在地で、建設期間中の安全保育を確保し、31年4月開園の予定です。

5 北の杜フードバレープロジェクト

企業版ふるさと納税を活用し、農業者・観光業者等がネットワークで結ばれる「北杜市フードバレー協議会」を創設、全国や世界に向け発信する地産全消や、農観連携ツリズムなど、官・民が協働した地域の活性化に取り組みます。

6 JTBとの連携協定締結

市内農家と連携し、JTBファームを設立。自社の福利厚生や、観光客向けのコンテンツに活用します。市と連携し「食」と「農」を核とした地域振興に関する包括連携協定」を締結、地域経済活性化、魅力ある観光地づくりに取り組みます

7 トレック・トラックサービス

市内には名峰が多く、多数の登山者が訪れます。民間企業開発の「トレック・トラック」サービスで、携帯電話の電波が届かない場所でも位置情報を発信し、緊急時は警察や消防に位置を知らせるなど、遭難救助などの対応が可能になります。

8 公営アカデミー学習応援事業

学習応援人材バンク登録の教員OB等に協力いただき、夏休みに学習支援として「北杜っ子チャ

9 スポーツ、芸術・文化事業

山梨クイーンビーズが市内で試合を行う、ホームタウンとして、市民と応援。芸術・文化分野では、クラシックコンサートや八ヶ岳音楽祭開催など、芸術文化スポーツ振興基金を活用し、多彩な芸術・文化に触れる機会を創出していきます。

10 女性消防隊の活動状況

4月の女性消防隊発足以来、消防防災の新しい力として、イベントでの啓発活動を中心に活躍。家族の理解の中、仕事や家事と並行し、週4日訓練活動に励み、秋田県で開催された全国女性消防操法大会に県代表として出場しました。今後の活動に期待しています。



JTBとの連携協定締結式

①終戦記念日に合わせて地元新聞社が行ったアンケートに、市長は憲法9条改正には反対と答えた。高く評価し、歓迎したい。あらためて市長の考えを伺う。

②北朝鮮の核実験、弾道ミサイル等の連続発射は暴挙であり許せない。同時に日本政府は、トランプ米政権支持一辺倒ではなく、唯一の被爆国、憲法9条を持つ国として、平和外交・対話優先の立場を貫くべきだ。市長の見解は。

③文科省は中学校の武道の選択科目に「銃剣道」を加えようとしている。心臓と喉を突くことを競い合う種目であり、学校で教えるべき競技ではない。市の対応は。

市長 ①平和憲法の精神は堅持すべきだ。改正の必要性についての議論は不十分であり、現時点では「反対」とした。

②平和を求め世界に対する挑発的行為であり、非核平和都市宣言を決議した本

市長の政治姿勢は

十分な議論を望む



日本共産党

しむら 志村

きよし 清

市として、断じて容認できない。国は国際社会と一致協力した外交を展開し、平和的に解決してほしい。

教育長 ③安全性は慎重を期すもの。指導者などの課題もあるため検討が必要。

問 メガソーラー建設計画への対応は

①塩川ダムの上流、須玉町増富地区に、大規模な太陽光発電施設を設置する計画が持ち上がっている。景観や水質への影響、災害の心配等について市の判断は。市長は現地視察すべきでは。

②地上型太陽光パネルへの監視・指導の現状は。担当

課の体制強化は。

答 県と連携し対応

建設部長 ①事業規模から、県の所管と想定している。市の景観条例に基づく届け出があった場合は、県と情報共有を図り対応する。現地の状況は把握している。

②法改正で標識の掲示や柵・塀の設置が義務付けられた。パトロール、確認、指導に努めている。

問 国保税引き下げの努力は

①国保税の県統一化について、県の運営協議会は保険

料一本化を急がず、「3年ごとの見直しの中で検討」とした。黒字分や一般会計からの繰り入れなどで、国保税を引き下げるべきではないか。

②滞納者への短期被保険者証の「有効期間」や「留め置き」が各地で問題となっている。本市の現状は。

答 公平性に留意

市民部長 ①昨年度の市民一人当たりおよび一世帯当たりの国保税額は、県下13市で最も低い。医療費適正化の取り組みや税徴収の努力で、黒字を保っている。県への納付金が示されていないため、黒字分の取り扱いは未定。一般会計からの法定外繰り入れは、国保加入者以外の市民との公平性や受益者負担の観点から好ましくない。

②市の要綱により、最長3カ月、18歳以下は6カ月。新年度は、分納誓約の履行に関わらず、3月中に簡易書留で郵送した。留め置きはない。



メガソーラー計画の牧場地跡



明政クラブ

あい よし しょう いち
相吉 正一

太陽光発電施設は

指導に努める

- ①長坂町塚川地区の太陽光発電施設の安全対策は。
 - ②東電と接続契約した施設の稼働件数は。
 - ③太陽光等再生エネルギー検討委員会の設置は。
 - ④市議会有志による条例提案は。
- 市長** ④議員発議で審査、議論されたもの。見解を述べる立場にない。
- 建設部長** ①事業者は、側溝、浸透施設の設置、定期的巡回を約束している。指導に努める。

市長 ①来月から、各地区

答 来年3月までに
計画策定

- ①地域公共交通網形成計画の策定予定は。
- ②過疎地における自家用有償旅客運送の導入は。

問 地域公共交通の再編整備は

- ①東電からの情報提供がないため把握していない。
- ③今月1日に施行した。来月には初会合開催の予定。



職員による路線バス乗車聞き取り調査

で市民ワークショップ開催、活性化協議会を随時行い、来年3月を目的に取り組む。

企画部長 ②形成計画の策定過程で検討する。

問 公共施設等総合管理計画は

- ①統廃合のスケジュールは。
- ②早期に着手する考えは。
- ③個別計画の策定は。

答 課題を明らかにする

市長 ①本年度は、市民説

明会、市民アンケートを行い、公共施設の現状と課題について情報共有に努める。

企画部長 ②③市民アンケートの結果などを踏まえ、早期着手や個別計画策定の取り組みを進める。

問 風水害対策は

- ①風水害対策は。
- ②避難情報発令の目安と避難行動の目安は。
- ③ハザードマップ危険箇所住民への情報の周知は。

答 重点的に取り組む

総務部長 ①甲府気象台の防災機関専用ホットラインなどで最新情報を把握し、市民へ迅速に周知・伝達する。

- ②避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）の3段階で対応。
- ③改訂版ハザードマップの各戸配布、危険箇所確認等に努めている。

問 市職員採用試験は

北杜市の職員採用試験の現状、管理体制は。

答 公平に実施している

総務部長 1次試験は、問題作成・採点を県町村職員統一試験実施委員会に事務委託。第2次試験の集団討論と面接に限り、総務課が課題作成・採点する。守秘義務の順守、公平性の確保の徹底を図っている。



ほくと未来

かとうのりお
加藤 紀雄

若い世代の移住が増加

移住・定住対策は

- ① ふるさと回帰支援センターの相談数は。
- ② 北杜市への移住希望者の傾向は。
- ③ ふるさと回帰支援センターとの連携は。
- ④ 市の受け入れ体制は。
- ⑤ 職業紹介は。
- ⑥ 空き家バンクの実績は。

総務部長 ① 昨年度の相談

件数は約2万6、500件。24年度の約4倍。山梨県分は約3、000件で、うち多くは北杜市を希望。

② 以前はシニア世代が多かったが、昨秋から実施した転入時調査によると、約4割が20歳代から40歳代。

③ 昨年度29回、今年度15回、北杜市独自のセミナーを開催。職員が駐在し相談にも応え、本年4月から18世帯38人の移住者を受け入れた。

④ 各種支援策と併せ、区長等の協力を得て推進している。

⑤ 「ほくとハッピーワーク」の利用者を拡大し、昨年度の約4倍、毎月300件を超える相談に答えている。

- ⑥ 19年度以降、登録119物件。売り40物件、貸し34物件が成約。清掃費等補助金を創設した27年度以降、登録が増加、97人の転入につながった。

問 小淵沢駅の運営と活用策は

- ① 全面完成の時期は。
- ② 工事終了までの利用者の安全対策は。
- ③ 市道小淵沢町45号線の整備と照明設置は。
- ④ 駅舎と駅前広場のJRR東日本との管理区分は。
- ⑤ 交流施設の活用策は。

答 年末完成予定

- 建設部長 ① JR東日本の工程変更等で、9月から12月に完成見込みが延長。
- ② 交通誘導員の増員と配置時間の延長。東側の工事箇所内に歩道を設置。車両の回転場所として、JRの敷地の一部を借用し対応。
- ③ 国の補助事業を活用するなど、前向きに取り組む。照明設置は地元行政区と協議・検討する。

問 県営施設の活性化対策は

- ④ 中央階段を境に、階段を含む東側の観光案内所、交流施設、エレベーター、トイレが市の施設。レンタカー駐車場までがJRの敷地。バス・タクシープール、市営駐車場、歩道は市の管理。
- ⑤ 施設利用を考える会にも検討いただく。

答 県に存続を強く要望

- 市長 ① 観覧席や電子掲示板の改修に続き、今年度は厩舎等の整備が計画されている。5月、「JOCジュニアオリンピック・全日本ヤング総合馬術大会」が開催され、来月、「第52回オリンピック記念大会」の開催予定。
- ② 23年度「廃止」の評価を受けた。存続条件の28年度までの年間利用者1万8千人以上は実現した。市は関係団体と連携し、存続について強く要望していく。



北杜市の玄関口 小淵沢駅



北杜クラブ

あき やま しん いち
秋山 真一

再生可能エネルギー 発電設備の今後は

バランスのとれた推進を

自然豊かな風土を大切に守り、子どもたちに残していく事は、私たちの大切な使命である。再生可能エネルギーは、地球温暖化防止という点以外にも大きな経済効果をもたらし、市税の増加につながり多くの公共サービスに使われている。自然環境に優しい再生可能エネルギー施設と共存する事が、未来へつながる方法だと考える。

①隣地に影響を起す危険性
②地球温暖化問題は最も重要な環境問題で、地球温暖化を防止する事は、人類共通の課題でもある。市としての地球温暖化対策の考えは。
③北杜サイト太陽光発電設備での売電金額は、市の財政の大きな収入源となっている。年間の売電金額と収

益の利活用先は。
建設部長 ①FIT法改正前に認定された発電施設も法令規定事項や事業計画策定ガイドラインの厳守を求め、事業計画認定申請書の提出を行う必要がある。指導・助言を行えると考えている。

生活環境部長

②再生可能エネルギーのバランスの取れた推進と省エネルギー化の推進に取り組み、5年計画でCO2排出量の600トン削減を目指している。東日本大震災の経験を踏まえて、自分たちに必要なエネルギーの自給自足を含め、自らの課題として考える事が重要。

③売電収入は、1億1、386万円で、家庭600軒分・CO2削減換算量は1、462トン。避難所8カ所へLEDソーラ街路灯を導入し、今後も増やす予定。住宅用太陽光発電システム、エコキュート、蓄電池などの補助金に活用。

問 観光産業の展望は

観光とは経済活動のため

だけではなく、風土・暮らし・人柄を好きになって移住していただく、人と人をつなげる窓口だと考える。観光産業を発展させ、あらゆる世代が活躍し豊かな生活を送っている姿をPRするべき。

①観光地で快適に楽しんでもらえるように、環境整備する事が重要。現状の観光客の動向と今後の施設計画は。

②尾白川溪谷の登山道で痛い事象が起きた。素晴らしい景観を安心して楽しんでもらうための対策は。
③知識を持ったガイド的な人材が必要。地域おこし協力隊での育成や事例は。

答 多角的に取り組み

産業観光部長

①観光客数は401万人、前年対比7.6%増。リピーター率が78%と高く、全体の満足度調査においても88.1%が高評価されている。今後は旬の情報を提供し滞在時間を長くするための工夫をして、消費額の増加を推進していく。明野ひまわり公

園に観光案内所を併設させた多目的トイレや瑞牆山公衆トイレを設置予定。
②安全対策協議会での提案を受け、注意喚起を掲載したゲートの設置、危険箇所を延べ585mの鎖の設置を行い、北杜警察署・山岳救助隊に安全確認をしていただいた。今後も安全に登山ができるよう計画的に整備を行う。

③一例で、八ヶ岳ツーリズムマネジメントに協力隊として従事された間、自らのスキルを仕事の中で磨き、地域の人や観光事業者と人間関係を構築し、隊員終了後も市内に定着して活躍されている。

問 交通環境の推進は

市民が安全で快適に生活する上で、交通環境の改善はとても重要だが、他の事業に比べ多額の税金投資と長期の時間が必要になる。拡散し続けた住居エリアも収縮化・集約化傾向の現状に対し有益になる計画となり、北杜市全体の将来像を



安全で便利な道を

見据えた発展的な交通網をつくり上げることが重要と考える。

①地域公共交通網形成計画を作成するにあたり、市庁舎などの重要施設の再構成計画を進めることが先決では。

②高齢者の移動外出支援事業が今年の秋からスタートする。事業内容と課題は。

③ふれあい支援農道の開通予定が変更された。今後の予定と延長の理由は。

答 市民と協働して取り組む

市長 ②高齢者の移動手段の確保は大きな課題であり、介護予防の観点からも高齢者の外出を促進することが重要。要支援1と2に認定されている方などを対象とした、市民ボランティア団体との外出支援サービスで、長坂町と大泉町で実施予定。

企画部長 ①公共施設の総合的かつ計画的に管理を推進するため、北杜市公共施設等総合管理計画等を策定し、現在、公共施設の最適配置に向けた市民説明会、市民アンケートなど市民と共に検討する取り組みを進めている。

市民部長 ②安定的な継続のためのボランティアの確保、安全な運行の確保、費用対効果の検証などが課題。市と協力団体が密接に連携しながら進める。

産業観光部長 ③安全な通行の確保のため関係機関と協議し、信号機の設置と補完工事を行う事になったため。早期開通に向け県と調整し、順調に推移すれば来

年7月に全線開通の予定。

問 教育環境の充実は

子育て政策を進めることが、子育て世代を集め、経済を活性化させ、人手不足に悩む高齢化対策の最善の道だと考える。北杜市らしい子育てスタイルを確立し、1つの命を地域全体で大切に育て、生まれ育ったこの北杜市で子育てしてくれ、ほくとっ子があふれることを期待する。

①個性や自由な発想を尊重する現代で、部活動など選り好みのない状況の継続は時代に逆行している。難航している中学校の統合計画は。

②各学校は独自でいろいろな取り組みをしている。市が決めた画一的な方針ではなく、各学校の校風や地域の特色を生かした教育を率先的に認めて、自由度のある教育環境を整えるべきでは。

③青少年育成市民会議、子どもクラブなど多くの方々が子どもたちのためにご尽力されている。負担なくよ

りよい活動ができるような支援と、子どもたちを取り巻く環境整備について市の見解は。

答 今後も全力で取り組む

教育長 ①人口減少、少子化が進む中、生徒の教育環境を考えた場合には学校の適正規模、適正配置について検討を進めることは必要。地域委員会等を通じて地域の意見を伺っていきたい。

教育部長 ②地域資源を学校教育に生かす原っぱ教育を推進し、地域の特色に応じた学校運営と、各学校の工夫による子どもたちの健全育成に努めていく。

③青少年育成北杜市市民会議をはじめ、関係者の方からご意見を伺いながら改善策や支援策を検討していく。

福祉部長 ③市では、保育料の第2子以降の無料化、子ども医療費受給対象年齢の拡大、北杜ハッピーワーク、ファミリースポーツセンター、子育て世代包括支援センターの設置、子育て支援住宅の建設、子育て世代マイホーム補助金の創設、

放課後児童クラブや児童館等子どもの居場所づくりの充実、原っぱ教育の推進、子どもの見守り体制の構築等、さまざまな取り組みを進めてきた。今後も他の部局と連携を図る中で政策の充実を図り、また市民の皆さまとともに子どもたちの声が響く北杜に向けて全力で取り組んでいきたい。



協力が健幸への鍵



ともにあゆむ会

おかの岡野 じゅんの淳

公共交通は

市民の要望を把握して
取り組む

- 1、地域公共交通網形成計画について。
 - ①交通活性化協議会と地域公共会議の関係は。
 - ②市民グループとワークショップの関係は。
 - ③地域公共交通再編実施計画の内容は。
 - ④「地域」をどう考えるか。
 - ⑤3、000世帯アンケートの回答率と結果は。
 - ⑥交通弱者など利用者の声の反映は。
- 2、地域公共交通網形成計

- 画の記載事項について。
- 3、地域特性に応じた交通サービスの組み合わせは。
 - ①組み合わせを考えるのは誰なのか。
 - ②事業への住民等の積極的な参画は。
 - ③「新たな公共交通」のイメージは。
 - ④デマンドバスの復活は。
 - ⑤タクシー定期券の実証実験は。
 - ⑥公共交通に対する危機感の共有は。

- 4、今後の方向性(案)とは。方向性から外れた意見は採用されないのか。

企画部長 1、①密接な関係があり、同じ構成員とした。

 - ②誰かが答えを出すというよりは、コミュニケーションを図って妥当な線を探ることになる。
 - ③市民の意見を踏まえて検討する。
 - ④日常生活上の移動動向や地勢を考慮する。

- ⑤回収率51・4%。結果は分析中。
- ⑥世帯アンケート、利用者調査、ワークショップで集約。
- 2、持続可能な地域公共交通網形成のため、留意すべき事項であると理解している。
 - 3、①行政、市民、利用者事業者等が創り上げるもの。
 - ②持続可能な地域公共交通上で住民の参画は有効。
 - ③マスタープラン策定の中

- で検討する。
- ④排除ではなく、実証運行の形のままで復活は考えていないという趣旨だ。
 - ⑤国の動向等を注視する。
 - ⑥ワークショップ、活性化協議会などで伝える。
 - 4、参考だ。今後方向性の内容が変わることはあり得る。

問 観光政策は

- 1、温泉施設について。
 - ①指定管理施設の利用動向と指定管理料は。
 - ②指定管理施設の定期的なチェックは。
- 2、観光客の交通の便は。
 - ①JRや高速バスで訪れる観光客の移動手段は。
 - ②清里ピクニックバス、八ヶ岳鉢巻周遊バスの利用は。
 - ③自動運転車の実証実験誘致は。
- 3、観光客誘致と安全対策について。
 - ①標識などの多言語化は。
 - ②標識設置のチェックは。
 - ③山岳医療パトロールは。
 - ④インバウンド誘致策は。
 - ⑤外国選手の合宿誘致は。
 - ⑥日向山登山に、パーク&



玄関口に英文標記を

代表質問



ライドシステム導入は。
4、農産物直売所について。
①市関与の直売所数は。
②売り上げ、来場者の動向と、運営指導は。
③道の駅こぶちさわの売り場面積の拡充は。

答 海外に目を向け 対応

市長 2、③国交省関東地方整備局に出向き、情報収集と意見交換を行った。調査研究を継続する。
3、③日本登山医学会が社会貢献活動として行っている。今夏、甲斐駒ヶ岳七丈小屋を基地として実施された。

教育長 3、⑤フランスの自転車協会関係者の視察を受けたが、不調に終わった。
企画部長 1、①利用者数の増減を重視し、改善に向けた指導、助言を行っている。指定管理料は、所管課、管財課と指定管理者の三者で協議し、年度協定する。
②半期に1度の報告、年間の事業報告以外に、必要に応じて現場に赴き状況把握に努めている。
産業観光部長 2、①宿泊

施設の送迎、日帰り客はタクシー・レンタカー等を利用。
②28年度、ピクニックバスは3万8千人、周遊バスは1、949人。
3、①来年度以降、国の事業を活用し、改善・強化する。

②経年劣化が激しいものから順次改修している。
④観光品質認証のサクラクオリティ導入を準備中。
⑥尾白川溪谷駐車場からの登山を推奨している。
4、①明野町農村公園直売所など6カ所。すべて指定管理施設。

②売り上げ、来場者の動向はすべて把握。運営指導は必要に応じて行う。
③今月、指定管理者から経営拡大の要望が出された。関係者に広く意見を伺う。

問 環境基本計画に ついで

1、ごみの減量化とリサイクルについて。
①ごみ排出量の傾向は。
②不法投棄と対策は。
③資源回収の傾向は。
2、「豊かな自然を守る

杜」は。
3、「清らかな水を大切に
する杜」は。地下水保全
ネットワークの活動は。
4、「地球環境保全に貢献
する杜」、再生可能エネ
ルギーの導入は。
5、「つなぐ将来を大切に
する杜」は。
6、市の環境像実現に向け
た意見交換会は。

答 地道に推進する

生活環境部長 1、①28年度、可燃ごみは1万1、

621トンで微増。不燃ごみは781・2トンで横ばい。
②不法投棄は7・7トンで減少傾向。シルバー人材センターに委託し、週2回、巡回・回収している。
③資源回収は1、852トンと、緩やかな減少傾向にある。

2、有害野生鳥獣の捕獲、特定外来植物オオキンケイギクの駆除に努めている。
3、市内河川の45カ所で水質検査を実施している。地下水観測井データのモニタ



市民生活と公共交通

リングを行っている。
4、地球温暖化対策の推進には欠かせない。
5、環境リーダー育成、幼児環境教育プログラム、花育講座など、人材育成を図っている。

問 地方創生事業は

①ふるさと創生会議の内容は。
②地方創生交付金4事業の進捗状況は。

答 積極的に取り組む

総務部長 ①総合戦略に関連する事業の昨年度実績、今後の取り組みについて報告した。「空き家バンク制度の充実」、「子育て支援の充実」、「ミズクマの有効活用」などに活発な意見があった。
②おおむね順調に進捗しているが、総合戦略に掲げる事業の着実な推進により本市の地方創生に取り組み。



公明党
進藤 正文

教育現場の貧困対策は

入学準備金 就学前支給に向け準備

- ①本市独自の対策は。
- ②要保護および準要保護児童等援助費の現状は。
- ③援助費支給時期の前倒しは。

を支給。

市長 ③国の要綱改正に合わせ、本年12月に要綱改正、補正予算も検討する中、就学前の支給に向けて準備を進める。

教育長 ①②教員OBによる夏休み教室を実施。準要保護世帯の小中学生291人に、総額2、300万円



入学準備金支給の前倒しを

問 防災対策は

- ①防災会議への女性登用は。
- ②自主防災組織の拡張は。
- ③女性消防団員の防災リーダー研修参加は。
- ④学校の防災対策は。
- ⑤避難場所の整備・運営・訓練は。
- ⑥福祉避難所の対応と状況は。

答 女性やNPOの活躍を期待

- 教育長** ④避難訓練や保護者への引き渡し訓練を実施。
総務部長 ①委嘱する団体に女性の選出を働きかける。
- ②現在56団体。今後も、区長会へ組織化を働きかける。
 - ③積極的に参加して知識と技術を高めてほしい。
 - ⑤来年からNPOと連携し、避難所開設訓練を行う。
 - ⑥14の社会福祉法人と協定し、公共9施設、民間25施設を福祉避難所に指定。災害時の連携を図る。
- 問 減量化は**
①家庭ごみの減量は。

- ②リサイクル推進と学習会の実施は。
- ③災害廃棄物処理計画の策定は。
- ④市民参加によるごみ焼却施設の見学は。

答 家庭の排出量は県下で最少

- 生活環境部長** ①ごみ袋への記名義務化の効果もあり、1人当たりの排出量は県下で最少。

- ②ごみ分別出前講座等の環境教育・学習を実施している。
- ③大規模災害を想定し、27年度に策定した。
- ④韮崎市のエコパークは、随時見学を受け付けている。

問 食品ロス削減の取り組みは

- ①食品ロスについての認識は。
- ②食育・環境教育は。
- ③宴会の食べ残しをなくす、3010運動の取り組みは。
- ④賞味期限が近い、災害備蓄品の有効活用は。

答 廃棄処分は避けたい

- ④複合化・多機能化、民間への移管、譲渡など検討する。

産業観光部長 ①③3010

- ①運動など市民、事業者、行政が連携し取り組む課題と考えている。
- ②地域食材、農家への感謝や食物の大切さを教えている。

- ④社協への提供等で廃棄処分は避けている。

問 公共施設等総合管理計画は

- ①総合管理計画の進捗状況は。
- ②公共施設マネジメント白書から見る、市の課題は。
- ③PDCAサイクルの構築と周知は。
- ④公共施設の有効活用は。

答 工程表により着実に進める

- 企画部長** ①本年度、説明会と2千人アンケートを実施。
- ②類似施設が多く、的確なサービスの提供が課題。
 - ③業務の検証・評価・改善を図り、市民に情報提供する。

一般質問

中部横断道 長坂〜八千穂間は



清水 進
(日本共産党)

問 ①環境や農業等の影響を検討する委員会設置は。

②長野県側住民は、ルート変更の要請をしている、把握しているか。
③高速道路建設の地元負担は。



中部横断道・高架橋続く

地域影響の検討を要望

建設部長 ①中部横断自動車道活用検討委員会を

設置、事業進捗に合わせ委員会を開催し、活性化を検討。

②情報は認識していない。
③現段階で国からの説明はない。

65歳障害者の 介護保険は

問 ①市の低い認定率を改める考えは。

②介護計画を市が意見し、変更することはあるか。
③65歳で障害福祉から介護保険に移行すると自己負担が生じる。対応は。

介護予防事業に注力

市長 ①実態にあった認定に努めている。低い認定率は、予防事業の積極的な取り組みによるもの。

市民部長 ②個々の状況に合わせ、自立支援に向けた計画に努めている。

③障害福祉は65歳で介護保険に移行。円滑な移行を支援する。軽減措置は国の動向を注視。

農業生産法人参入は



福井 俊克
(ほくと未来)

問 ①企業の参入数、面積・雇用創出実績は。

②武川町中山地区の事業規模・総事業費は。
③基盤整備事業完了予定は。
④完了後の参入企業等は。

20企業が栽培開始

産業観光部長 ①法人参入は20企業、面積160畝、雇用は約500人。
②計画面積40畝、事業費17億8千万円、27年度に事業採択。

③埋蔵文化財調査後の31年度から圃場整備に着工完了は35年度。
④トマト施設栽培の企業1社と、醸造用葡萄栽培の企業1社を計画。

尾白川整備早期着工を

問 ①整備の着工時期は。
②駒城橋の架け替えは。



農業参入が待たれる中山地区

国に早期着工求める

市長 ①下流域の事業概要を地元の説明、国に早期着工を求める。
建設部長 ②早期整備に向け、県と連携。

全国学力調査の対応は

問 ①公表の考え方は。
②市内小中学校の平均回答率は。
③学校毎回答率の把握は。

全国平均を上回っている

教育長 ①市全体の状況は公表。学校名は未公表。
②全教科が全国上回る。
③教育委員会は把握、各学校も自校の結果を把握。

公有車の安全な運行のために



保坂多枝子
(無党派)

問 市の高齢化率は35%を超え、人口に対し面積が広大で、公共交通の果たす役割は大きく、交通環境の整備や運行計画が重要な課題だ。交通事故を防ぐためには発生時の状況を的確に把握し、十分な検証が重要となる。

①ドライブレコーダー搭載車両数と、形態は。
②事故発生時の対応とマニュアルはあるか。
③事故発生時の状況把握は。
④安全走行指導は。

運転指導・教育に重点

企画部長 ①公有車34

8台中16台に設置、市民バスは全車に車外と車内が見える位置に設置されている。保育園バスには設置されていない。
②③交通事故発生時は、公有自動車等管理運行規則など、法令に定めた措置をとり管財課長に連絡状況を把握し、警察の求めに応じ現地立ち会い、相手方の被害度合いの確認など必要な対応を行う。マニュアルは整備されている。

④法に基づき各施設毎安全運転管理者を選任し、指導・教育を行っている。安全運転コンクールに若手職員が参加するなど、安全運転啓発を定期的に行う。



安全運転してね

学校給食の地産地消率 下落への対策は



池田 恭務
(無党派)

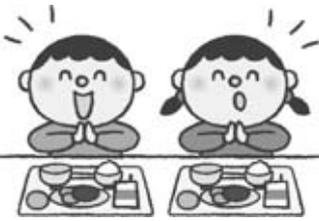
問 ①総合計画で重視している給食の地産地消率の推移は。平成24年度で北杜市産45・4%。

②下落傾向の原因は。農水省の県出荷量データを見ると「不作」ではない。
③より細やかな目標設定でさらなる高みを。
④一過性でない仕組みづくりを。地場産業の振興・消費拡大、健康増進、移住促進にも繋がる。

物流組織創設計画あり

教育長 ①26年度44・4%、27年度39・2%、28年度36・4%。

②下降傾向の原因は、天候不良による収穫量の減で納品できなかった等。多くが露地栽培で収穫時期が天候に左右され、献立との調整が課題。



食育で子育て世代を呼び込む

政策秘書課長 大変重く受け止めている。慎重に検討していきたい。

慎重に検討する

問 市民の代表である議会が全会一致で議会のインターネット公開を求め、請願を趣旨採択。予算を伴うが市長の考えは。

議会のネット公開は

③過度な目標設定は食材等の偏りにつながり適当でない。
④学校給食センターが一定の成果を上げている。物流組織創設の計画あり。

市内夏祭りは



清水 敏行
(無党派)

問 ①地域実施の夏祭り事業、市の考え方は。
②将来の夏祭りは。

創意工夫して開催

総務部長 ①地域の特色を生かし、創意工夫を重ねる中で開催してほしい。

②地域意見を尊重し、総合支所と連携して統合や効率化をお願いしていく。



「祭り」でふるさとづくり

軽度要介護者向けサービスは

問 ①市事業へ移行した総合事業の進捗状況調査への回答と理由は。

②担い手不足など、事業者への影響、支援策は。

災害派遣車両証明書は

市長 ①②順調と回答。体制整備が進んでいる。運営や活動内容を支援。

事業進捗状況は順調

問 ①給水車両台数は。

②証明書発行をホームページに記載する考えは。

市ホームページに掲載

生活環境部長 ①2トン給水車2台保有。

総務部長 ②市HP書類ダウンロード一覧に掲載。

長坂IC東交差点は

問 ①関係機関と協議は。②運行に対する改善策は。
建設部長 ①②八ヶ岳南麓の重要道路。渋滞解消など、県・北杜警察署などの関係機関と協議検討。

農地管理機構との連携による 耕作放棄地等の活用は



井出 一司
(北杜クラブ)

問 ①耕作放棄地面積、貸付可能再生利用面積は。

②具体的取り組み状況は。
③耕作放棄地活用実績は。
④問題点・課題・計画は。

圃場整備事業を活用

市長 ①面積1、375畝、再生面積471畝。

産業観光部長 ②県の機構借受農地整備事業活用や、農地中間管理機構活用で耕作放棄地発生防止。

③3年間で134畝を再生。圃場整備事業を活用。
④高齢化が進み、新たな担い手と耕作者の確保に苦慮する状況。

介護予防・日常生活支援総合事業は

問 自治体の自由度が高く、創意工夫ができる。
①新総合事業のサービス、



総合事業 通所型B

②自己負担の利用料は所得に応じ単価の1または2割。筋力元氣アップ教室は3カ月間で、自己負担2千円、11月から開催。
③地域づくりが課題。地域ぐるみの取り組みとして着実に進めたい。

地域ぐるみで取り組み

市民部長 ①従来の訪問介護相当サービスと、人員基準を緩和した訪問型サービスAを行う。通所型サービスCは筋力元氣アップ教室を開催。

種類の状況は。
②サービス事業の基準・単価・利用内容・状況は。
③新総合事業の課題は。



モニターツアー収穫体験

問 豊かな環境資源を活用し、新規就農・農業者の組織化や企業の農業参入などが増加している。農業者は個々の営農に追われ、消費者ニーズの把握が困難な状況だ。横断的な地域運営ネットワーク「北の杜フードバレープロジェクト」の内容と、現在の進捗状況を伺う。

- ① コンソーシアムプロジェクトは。
- ② 地産地消・地産全消プロジェクトは。
- ③ ソウルフードプロジェクトは。
- ④ 農観連携ツーリズムプロジェクトは。
- ⑤ 農畜産物認証プロジェクトは。

問 ①人口動態をどう施策に反映してきたか。
②インフラ（水道）整備と人口減少対策は。
③総合戦略にインフラ（水道）整備を示せ。

市長 ②市の重要な施策。水道施設整備は、費用対効果等を考慮し計画的に対応する。
生活環境部長 ①31年度までの将来人口を推定、計画給水人口を算出。人口減少に合う施設規模に。③長期的視点・計画で維持・整備が必要なので簡易水道は総合戦略に示さない。

建設部長 ①市は国・山梨・静岡・長野県主催の富士川流域河川一斉清掃に取組んでいる。市内18団体が河川の草刈り・ゴミ拾いの清掃活動に参加。各行政区では、環境美化活動の中で実施し、多くの方に協力いただいている。

建設部長 ①市は国・山梨・静岡・長野県主催の富士川流域河川一斉清掃に取組んでいる。市内18団体が河川の草刈り・ゴミ拾いの清掃活動に参加。各行政区では、環境美化活動の中で実施し、多くの方に協力いただいている。

地域とともにある学校に！

北の杜フードバレープロジェクト事業は



藤原 尚 (北杜クラブ)

インフラ整備と人口減少対策は



齊藤 功文 (こもにあゆむ会)

コミュニティ・スクールの取り組みは



栗谷 真吾 (こもにあゆむ会)



この景観をいつまでも

産業観光部長 ①農業参入15法人と、コストダウンの共同化や、経営基盤強化を行うプロジェクト。
②農家と宿泊・飲食業者をつなぐ地域内の物流組織を創設する計画。市産農畜産物供給や、農家所得向上と安定経営を目指す。
③市の定番化料理がない。ブランドメニューコンテストを開催、メニュー定番化やブランド化を図る。
④学校教育の課外学習や、企業研修の場として活用できるプランを提案。
⑤生産工程を管理していくGAPなどの認証制度に取り組み、安全・安心な農畜産物をPRする。

問 ①人口動態をどう施策に反映してきたか。
②インフラ（水道）整備と人口減少対策は。
③総合戦略にインフラ（水道）整備を示せ。

建設部長 ①市は国・山梨・静岡・長野県主催の富士川流域河川一斉清掃に取組んでいる。市内18団体が河川の草刈り・ゴミ拾いの清掃活動に参加。各行政区では、環境美化活動の中で実施し、多くの方に協力いただいている。

問 学校運営協議会制度が、今年度から泉小学校教育が始まった。
①取り組み状況、導入後に行った事業は。
②28年度までに2800校以上が全国で実施。今年度から実施した理由は。
③制度導入で、参考にした学校や事例は。
④学校運営協議会委員の選定基準は。
⑤教員の負担軽減措置の対策と検討は。
⑥子どもたちの意見を取り入れる仕組みづくりは。
⑦他の学校でも導入するか。スケジュールは。
⑧積極的な予算配分は。

学習支援や行事協力 ①学校と地域住民・保護者が連携して学校運営に取り組むもの。
②コミュニティ・スクールの状況を検証、効果的な地域連携構築のため、本年度から始めた。
③昭和町・甲斐市・山梨市の事例を参考。
④学校長の推薦により、地元行政区や、地域委員会の方々に委嘱した。
⑤モデル指定校には教員を加配、負担増にならない運営を研究していく。
⑥学校が把握し協議会に反映。
⑦泉小を検証し、地域に合った設置を検討する。
⑧原っぱ教育創生事業の予算で対応していく。

小淵沢駅の現状と今後は



野中真理子
(こもにあゆむ会)

問 ①寄せられた苦情の内容は。

- ② 旅行者の荷物積み下ろし場所は。
- ③ 送迎時、構内駐車場は常に満杯の状態だ。レンタカーが4台も占有しているのはバランスを失しているのでは。
- ④ 駅西側建物部分の照明が大変暗い。改善は。
- ⑤ 駅北側植栽の管理は。
- ⑥ 南北自由通路は、駅舎一体型でなくても、単体の歩道橋として設置することは可能か。

② 東側ロータリー完成後は、駅舎前に一般車両乗降場、ロータリー付近にバス待機場を設置。そこでの積み下ろしになる。

③ レンタカーと一般車両が転回に利用している場所は、JR東日本の所有敷地。JRが第三者に貸し付けているので、市が関与すべきものではない。
④ 駐車場へ料金システム等を整備する際に、防犯灯を設置する。
⑤ 植栽管理は市が行う。
⑥ 整備する考えはない。西側地下通路を利用していただきたい。

建設部長 ① 駐車場の台数が少ない、バス通行時一般車両が一旦停止するので混雑する、駐車スペースの入口が狭いなど。

レンタカーはJRの所有敷地内



混雑する小淵沢駅

議会のうごき

8月

- 1日 中北・峡南地区議会議長会
- 4日 峡北広域行政事務組合臨時会
- 10日 議会運営委員会、山梨県市議会議長会議員合同研修会
- 18日 峡北地域広域水道企業団全員協議会
- 22日 全員協議会
- 25日 峡北地域広域水道企業団定例会
- 29日 議会運営委員会、全員協議会
- ※議会行政視察受入3件(静岡県川根本町、福島県本宮市、福島県白河市)

9月

- 5日 第3回定例会開会
- 7日 議会運営委員会
- 11日~14日 決算特別委員会
- 15日 全員協議会、広報編集委員会
- 19日 総務常任委員会
- 20日 文教厚生常任委員会
- 21日 経済環境常任委員会
- 26日 本会議(代表質問)
- 27日 議会運営委員会、本会議(代表質問・一般質問)
- 28日 全員協議会、本会議(議案審議)

10月

- 4日~5日 総務常任委員会視察研修
- 10日 峡北広域行政事務組合全員協議会
- 11日~12日 経済環境常任委員会視察研修
- 13日 広報編集委員会
- 18日 広報編集委員会・峡北広域行政事務組合全員協議会
- 19日 山梨県市議会議長会定期総会
- 21日~23日 韓国抱川市文化交流事業
- 24日 広報編集委員会
- 27日 峡北広域行政事務組合定例会
- 後期高齢者医療広域連合組合議会全員協議会・定例会
- 31日 文教厚生常任委員会視察研修

組合議会報告

峡北広域行政事務組合議会

8月4日に第2回臨時会が開催され、報告2件、契約2件について審議し、原案どおり可決されました。

報告

- ▼ 繰越明許費繰越計算書(常備消防特別会計)
- ▼ 繰越明許費繰越計算書(ごみ処理特別会計)

契約

- ▼ 高規格救急自動車購入
- ▼ 消防ポンプ自動車購入

峡北地域広域水道企業団議会

8月25日に第2回定例会が開催され、決算認定等2件について審議し、原案どおり認定されました。

認定

- ▼ 水道用水供給事業会計未処分利益剰余金処分および決算認定

報告

- ▼ 水道用水供給事業会計経営健全化審査



フェスタ杜のきらめき

声のひろば

議会を傍聴して



こばやし かえ 佳恵
大泉町

14年前に移住し3人の子育てをしています。

市政は生活に密着してはいますが、忙しさの中でどこか他人任せでいました。先日、友人に誘われて初めて市議会を傍聴しました。学校行事や役所で会う市の方、1票を託した議員さんもいて、一人一人の顔が見えて議会を身近に感じました。

しかし、初心者には難しい資料のうえ、聞き取りにくい音声に、事務的で残念と思う場面も。一方で行政のプロ集団によって、政治が動く様を見れたことは勉強になりました。子どもたちは「弱い人を守り、自然を大切に」と教えられています。故郷になる北杜市が、官民一体で次世代に恥じない市政を選択し、実践してほしいと思います。他人任せでいた反省も込めて。

一隅の声



おざわ ひで と 英人
武川町

12年前、永年勤務していた病院のリハビリ課を辞め、手技療法を要とした医療の場を地元で開設しました。

日々、さまざまな症状を持つ患者さん方に接し、いのちの声に触れながら、今まで常識とされてきた医学知識や臨床経験だけでは、捉えられないのちの法則性に氣付いてきました。

目に見える経済効果が優先される今日、いったい何が必要なのか。「星の王子さま」に「大切なものは目に見えない。心で見なければよく見えない」と、特に健康はお金では買えません。不自然な氣の流れが病を招くといえます。目に見えない世界と向きあってこそ、問題解決の糸口が一步一步見えてくるのではないのでしょうか。

北杜市の明るい未来



かま る てつ や 金丸 哲也
小淵沢町

豊かな太陽の恵みと名水。勇壮な山々に神代桜や大糸桜。大和神楽や信玄の棒道など、ここ北杜市には世界に誇れる魅力があふれています。

しかし、私が青年会議所等の地域活動を通じて感じることは、この素晴らしい魅力に対する市民の興味や、プライドがとても低いことです。そして、そのことが少子高齢化と併せて若い人材の都会への流出を加速する一因となっています。この問題を打開するために我々がすべきことは、地域の魅力を学び、自信と誇りを持ち、そのことを次世代へと伝えていくことだと思います。それが長期的な人口流出の歯止めになると思います。ぜひ、市議会の方々には、皆が誇りを持てるようままづくりをしていただきたいと思っています。

貴重な植物に理解を



さくら い や す ひこ 櫻井八州彦
須玉町

八ヶ岳・瑞牆山麓等、豊かな自然に恵まれた北杜市には、多くの貴重な植物が生育しています。その中には山梨県の絶滅危惧種、近い将来に絶滅の恐れのある種があります。さらに、県内で北杜市にしかない植物もあります。

貴重な植物を保護することは困難なことです。貴重な植物だけに、市民の皆さまに知っていただきたいと思いますが、絶滅につながる恐れもあります。しかし、知らなければ保護はできません。今のところ、知らせないことで保護を進めています。この豊かな自然を市民の皆さんと共有し、理解し合えないかと思っています。そのため、市内に豊かな自然を取り入れた、オオムラサキセンターのような施設が増えないかと願っています。



東出口湧水



鳥の小池

湧水巡り

八ヶ岳南麓一帯には湧水が多く分布しています。今回は大泉町地内の湧水を巡りました。湧水池に映る石の祠には先人の水への祈りが込められています。湧水の恵を受けている豊かな大地は、県下一の収穫量を誇る米作地帯ともなっています。



西出口湧水



西出口の木オノキ



八衛門出口

表紙の写真 国指定 史跡 金生遺跡

縄文時代後・晩期の遺跡で、住居跡のほか、墓や祭祀の場も発見されています。日常使われる土器・石器のほか、祭祀に使われる道具が大量に出土し、焼けた獣の骨も見つかっています。昭和58年指定。(大泉町谷戸字金生地内)

次回の定例会は
12月に開催する
予定です

12月定例会の様子は
1月にCATVで
放映予定です。
ぜひご覧ください!



■議会広報編集委員会

| | | |
|------|-------|-------|
| 委員長 | 原 堅志 | 進藤 正文 |
| 副委員長 | 井出 一司 | 池田 恭務 |
| 委員 | 栗谷 真吾 | 藤原 尚 |
| | 秋山 真一 | 藤原 功文 |
| | 志村 清 | 齊藤 |

編集後記

全国に誇れる「梨北米」の産地である市内各地では、稲の刈り取り作業が見られます。さて、9月定例会では平成28年度歳入歳出決算認定を主に、条例改正、補正予算などの議案が審議されました。全議員で構成の決算特別委員会を設置して、4日間にわたり活発な審査が行われました。今後も議会だよりを通して、市民の皆さまに議会審議の内容を、より分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。